# 取 扱 説 明 書

**JTC3102A / JTC3462A**

## はじめに

▲印は、安全上特に重要な項目を示していますので、必ずお守りください。

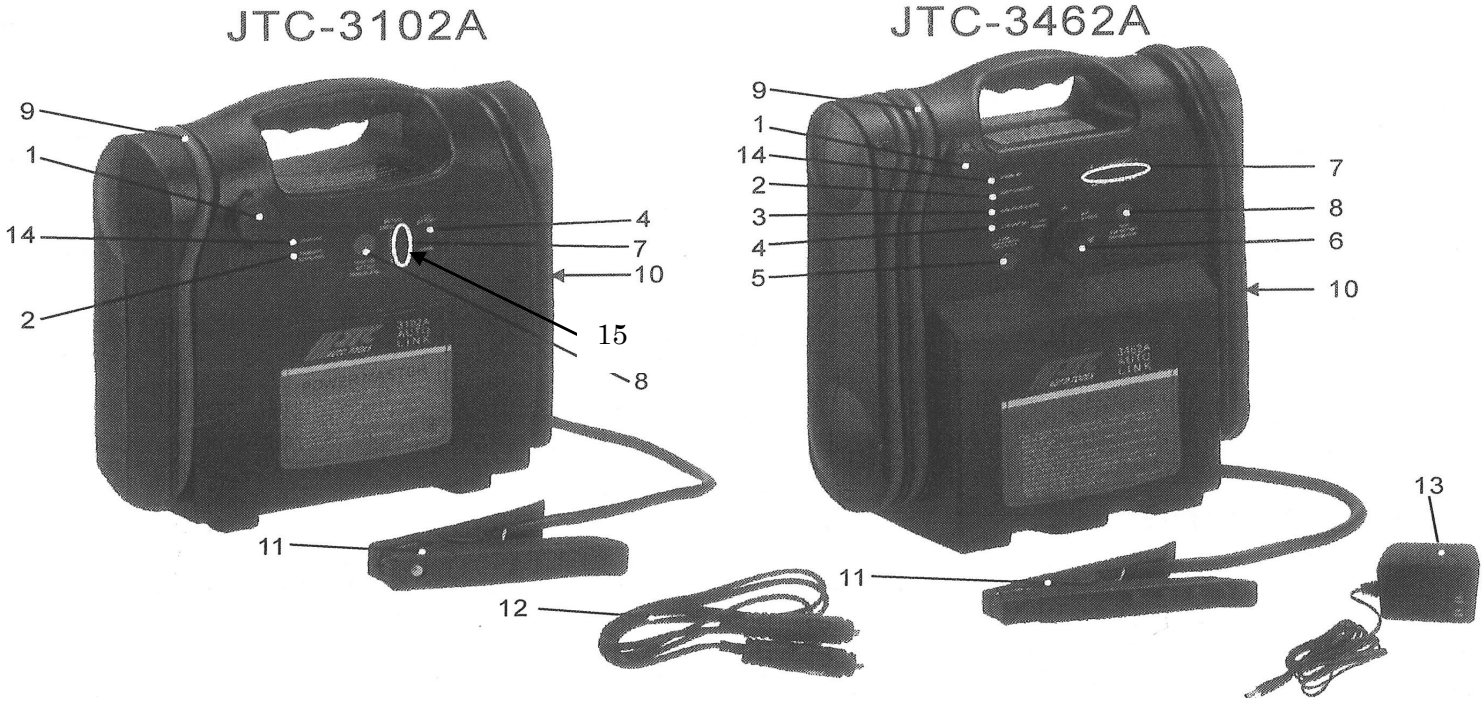
**▲注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあります。又は製品の重大な破損を招く恐れがあります。

## １．特徴

・大容量のバッテリーを搭載しているので、エンジン始動の補助や電源として使用できます。
・シガーライターソケットからも出力することができます。
・システムが１２Ｖか２４Ｖのどちらであるか検出し、電気部品及び本体へのダメージを避けてください。

## ２．仕様

| 型　　式 | JTC3102A | JTC3462A |
|---|---|---|
| サ　イ　ズ | Ｗ３４５×Ｄ１５０×Ｈ４００mm | Ｗ３４５×Ｄ１５０×Ｈ４００mm |
| 内蔵バッテリー | DC１２V，１７AH×1 | DC１２V，１７AH×２ |
| ブースター能力 | （12V）1100 | （12V）2200/（24V）1100 |
| 自　然　放　電 | ３％（20℃の時） | ３％（20℃の時） |
| ケーブル長さ | 720mm | 1700mm |
| 自　　重 | 10kg | 19kg |
| 付　属　品 | シガーライターコード，100V 充電器 | シガーライターコード，100V 充電器 |




## ３．各部名称

１．シガーライターソケット(出力 12V)
２．充電完了ランプ
３．正逆接続警告灯（**JTC3462A のみ**）
４．LOW バッテリー表示灯
５．BOOST ボタン（**JTC3462A のみ**）
６．DC12V/24V 選択スイッチ（**JTC3462A のみ**）
７．電池残量テストスイッチ
８．テストスイッチ
９．ケーブル
１０．充電器差込口
１１．クランプ
１２．シガーライターコード
１３．AC アダプター（100V 用）
１４．充電中ランプ
１５．ALARM（**JTC3102A のみ**）本体内蔵バッテリーが低電圧時（7.2V 以下）にアラームが鳴ります。

**※JTC3102A：軽～小型車向き**
**※JTC3462A：普通乗用車、ディーゼル車向き**

**本機はバッテリー用補助電源です。**
**上記は使用範囲の参考目安です。車両側のバッテリーの状態（例：0V完全放電状態）によっては電源供給を100%本機に頼ってしまい、内蔵バッテリーの負担が極端に増え著しく能力ダウンしてしまいます。**
**場合によってはブースターパックの内蔵バッテリー自体が完全放電してしまい再充電不可になりますのでご注意下さい。**

## ４．充電方法

| ▲注意 |
| --- |
| ・絶対に満放電状態（電源容量表示ランプが点灯していない状態）にしないでください。バッテリーが損傷を起こします。必ず未使用でも６ヶ月毎に充電してください。<br>・充電、使用中は、本機を立てておいて下さい。寝かして使用しないで下さい。<br>・AC 充電では、絶対に 72 時間以上充電しないで下さい。本機が破損する恐れがあります。<br>・使用毎に必ず充電してください。バッテリーの寿命が著しく短くなります。<br>**・充電するときはダイヤルスイッチを 12Vに合わせて充電して下さい。（JTC3462A）** |

**※充電するときはダイヤルスイッチを 12Vに合わせて充電して下さい。（JTC3462A）**

●AC 充電

①付属の AC アダプターを家庭用（１００Ｖ）コンセントに差し込み、他端を本機側面の AC100V 入力ソケットに差し込んでください。

②充電中は、CHARGING のオレンジ色のランプが点灯します。充電が完了すると、FULLY CHARGED の緑色のランプに切り替わります。切り替わったら、充電完了です。

③充電完了後、AC アダプターを本機とコンセントから抜いて下さい。

●DC 充電

①乗用車（１２V 車）のエンジンを始動させて下さい。※バッテリーが２４V の車両では充電できません。

②付属のシガーライターコードを車両のシガーライターソケットに差し込み、他端を本機のシガーライターソケットに差し込んで下さい。

③充電中は、CHARGING のオレンジ色のランプが点灯します。充電が完了すると、CHARGED の緑色のランプに切り替わります。切り替わったら、充電完了です。

④充電完了後、シガーライターコードをソケットから抜いて下さい。

ブースターパックを使用しない時は、ダイヤルを必ず OFF に合わせて下さい。

**※ 充電しても完了ランプが点灯しない場合**
**長時間充電しても充電完了にならない場合は内蔵のバッテリー自体の消耗が考えられます。**
**そのまま充電を続けると充電器に負荷が掛かり続け、加熱し充電器を破損しますので**
**充電器が熱くなる前にコンセントから抜いて下さい。**

**充電器が充分に冷めた状態で再度、接続しても症状が変わらない場合は**
**バッテリー自体の不具合が考えられますので**
**バッテリーをチェックして下さい。**

● BOOST ボタン（**JTC3462A のみ**）
通常はクランプをバッテリー端子に接続した際に自動的に電気を供給しますが、接続した車輌のバッテリーの残量が低下している場合には電気を供給しませんので、その際は BOOST ボタンを使用します。
BOOST ボタンを押しながら E/G を起動させて下さい。

**※ BOOST ボタンを押した状態では強制的に電気を出力します。**
**危険を伴いますので接続間違いや接触不良が無い事を充分に確認して作業して下さい。**